

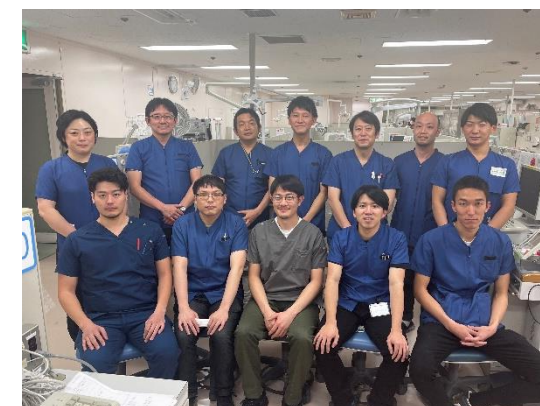
専門診療部門 インプラント歯科

診療科長： 宗像源博
診療科長補佐： 佐藤大輔
医局員： 石浦雄一 山口菊江
林泰生 清原秀一
酒井隆太郎 石井康太
阿部誉 矢木鴻太郎
大学院： 山下晃平 糸川拓臣

出身大学： 医科歯科大、昭和大、
神奈川歯科大、日本大



診療科長



2020年度前期研修医3名
出身大学： 日本大学歯学部
鶴見大学
神奈川歯科大学
2020年度後期研修医2名
出身大学： 昭和大

2021年度前期研修医2名
出身大学： 日本歯科大学
昭和大
2021年度後期研修医1名
出身大学： 昭和大

専門診療部門

インプラント歯科

当科では、前処置も含めて全顎的な治療介入を行う。

インプラント外来：40～60人/日

インプラント手術：1～4症例/日

研修医は、指導医の診療・手術介助を主に行う。

【研修の内容】

外来：診療介助

医療面接→診断（ワックスアップ、シミュレーション）

→手術説明, カンファレンス資料作成

2次手術

オープントレー製作

診療実施

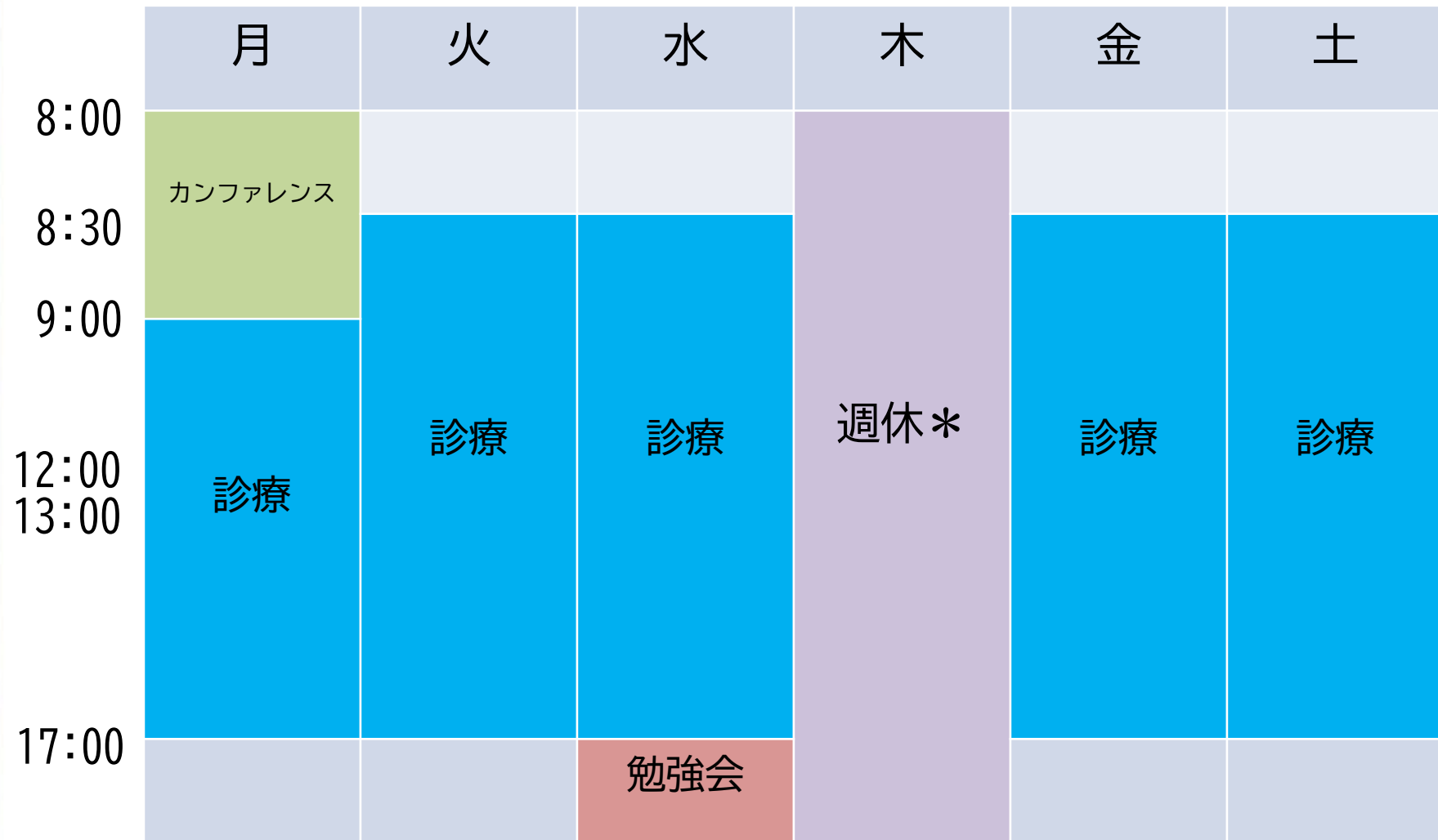
一般治療（根管治療・Cr-Br、義歯）

インプラント印象採得, 咬合採得, 上部構造装着

手術室：手術器具出し



研修医の1週間の流れ



*研修医毎に週休曜日は異なる

昭和大学の年間インプラント埋入本数、 2019・2020年度 2年連続日本一に！

インプラント治療は、外科部分と補綴部分を分けることは出来ません。インプラント歯科では、前処置、外科、補綴、メンテナンスまで全てを行っています。そのため、一般歯科～歯周病、口腔外科、補綴まで勉強することが多いです。

～当科で行っているアドバンスなインプラント治療～

- 抜歯即時インプラント埋入
- GBR
- サイナスリフト
- IOD
- All on 4
- 遊離歯肉移植術
- 結合組織移植術
- リカバリー（インプラント周囲炎）

診療の特色

All-on-4

症例①



術前



半年後

症例②



術前



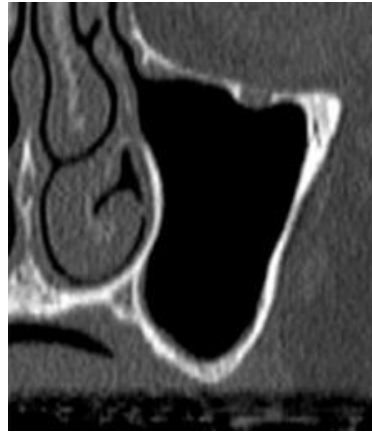
術後1週



最終上部構造装着

診療の特色

サイナスリフト



術前



術中
(内視鏡使用)



術後6M

GBR



術前



術中



術直後



術後2W



術後3M

診療の特色

インプラント周囲炎

症例①

上部構造形態修正



症例②

デブライドメント



過去の研修医と入局医局員

2015年度前期研修医

2016年4月大学院進学：清原秀一（昭和大学出身・助教歯科・入局8年目）

財産

研修医の時には、インプラントだけではなく、技工を含めて部分床義歯を一から製作しました。技工を自分で行うことで補綴に対する理解が深まったと思います。インプラントを理解するためには、外科・補綴・歯周病の総合的な知識が必要です。研修の時に義歯を一から製作したことは、現在の私にとって非常に重要な財産となっています。

2018年度後期研修医

2019年4月入局：石井康太（昭和大学出身・助教歯科・入局3年目）

日々成長しています！

研修医中にサイナスリフトや骨移植術など開業医ではあまり見ることの出来ない手術にたくさん触れることが出来ました。研修医終盤では、インプラント補綴に関しても印象から装着、メンテナンスまで一貫した流れで治療に参加できるようになりました。特殊な専門領域であるインプラント治療を研修医で行えるのは、症例の多いインプラント歯科ならではの思うので是非研修に来てみてください！



過去の研修医と入局医局員

2019年度前期研修医

2020年4月入局：阿部誉（昭和大学出身・助教歯科・入局2年目）

有意義な人生を送るために！

研修でインプラント歯科と昭和大学北部病院の口腔外科に行きました。元々、研修終了後は開業医に行く予定で、その前に少し専門的な分野に触れておこうという軽い気持ちで選びました。

国家試験にインプラントの問題があまり出ないこともあり、勉強をしてこなかったもので、日々新鮮なことばかりでした。手術にも器具出しとしてたくさん手術に参加させてもらえたので、埋入手術の手順、使用する器具は半年間という短い間でも分かるようになりました。さすがに、外科的な手技はさせてもらえませんでした。が、補綴的な治療はやらせてもらうことができたので、半年前の自分に比べたら非常に成長することができました。

研修が終わり開業医に行き一般治療だけするのは、いつか退屈になる、何か自分が好きな分野、専門的な分野をもつ歯科医師になる方が、この先有意義な人生を送れると思いインプラント科に入局することを決意しました。



過去の研修医と入局医局員

2020年4月大学院進学：山下晃平（昭和大学出身・入局2年目）

自分の強みに！

『専門性が高い分野こそ若いうちに学んで自分の強みとして伸ばした方が良い』と先輩からアドバイスを受け、研修医終了後に大学院生としてインプラント歯科に入局しました。

研修医後期までは、インプラントは一般治療ができてからのアドバンスコースだと勝手なイメージを持っていました。他科で研修医時代を過ごしたので、同期とは目に見えるほど差がついてしまいました。入局当初、同じ言語かと思うほど、話が分からず、研修医1年間で少し後悔をしましたが、今は、早く追いついて追い越してと同期、2、3学年上の先輩と切磋琢磨し、インプラント治療を自分の診療の武器の一つにしようと考えます。

少しでもインプラントに興味のある方は、とにかく症例数が多いので、研修医の時からインプラント歯科にきていただき、診断から治療計画の立案、外科的手技、インプラント治療の一連の流れをしっかりと学ぶことがオススメです。

是非とも第一歩をインプラント歯科で踏み出してください。



過去の研修医と入局医局員

2020年度後期研修医

2021年4月大学院進学：糸川拓臣（昭和大学出身・入局1年目）

技術と接遇

前期は、開業医に配属され、アシストだけでなく、一般治療に携わらせていただきました。緊張をして、汗をかきまくりました。半年経ち、少し自信もつき、この勢いで後期はインプラント歯科に行けば、なんとかやっていると書いていたのですが、開業医とは全く違う環境で、知識の上でも技術の上でも何も出来なかったことを覚えています。

インプラント歯科は、他科とは違い、診療科長をはじめ、諸先輩先生方が平日も土曜日も8時30分から診療を行い、とても活気があります。また、サイナスリフトの手術では、内視鏡を取り入れているのを見て、感銘を受けました。そんな診療科で楽しく勉強をして、成長したいと思い、大学院に進学することを決意しました。また、歯科医師は、技術だけでなく、接遇が出来ていないと患者はついてきてくれないことをインプラント歯科で教わりました。

治療や手術の流れなど覚えも悪く、毎日のように指導医に怒られていますが、技術面、接遇面でも私の指導医のようになりたいと思い、日々頑張っています。ぜひ、このインプラント歯科と一緒に成長しましょう。



過去の研修医と入局医局員

2021年度前期研修医：中山允貴（日本歯科大学出身・大学院進学予定）

刺激があって充実感があります！

私は、自分の好きな専門分野を長期間触れたいと思い、インプラント歯科を希望しました。なぜなら、歯を保存することも大事ですが、歯を喪失してから提供できる治療の引き出しを増やしたかったからです。

前期にインプラント歯科に配属され、国家試験を乗り越えた後のフレッシュな頭で臨み、何とか乗り切れるだろうと思っていましたが、歯科だけでなく、社会人としての知識の無さを痛感し、打ちのめされました。

しかし、インプラント歯科は診療科長をはじめチームで助け合って診療や手術を行っており、また患者数も多いですが、毎日、刺激と充実感がありました。さらに、一般診療だけではなく、技工ではステントやオープントレーの製作、診療ではCT説明やインプラントの印象採得を、1次手術では指導医の先生の間近で器具出しをさせていただきました。

インプラント歯科のように分からないことはすぐに聞け、楽しく勉強できる環境で成長したいと思い、大学院に進学することを決意しました。

ぜひ、このインプラント歯科と一緒に成長しませんか？



研修終了後は・・・



- ・学会加入：口腔インプラント学会・顎顔面インプラント学会

- ・教育：放射線科研修（3M）画像を含めた診査診断・インプラント治療とインプラント補綴の特徴・マテリアル

- ・臨床実地：コンサルテーション・補綴治療の介助と実施・埋入手術の介助

- ・患者担当（1歯欠損）



- ・教育：麻酔科研修（3M）歯周病科研修（3M）・シミュレーション診断・インプラント周囲炎、審美治療、全身疾患の把握

- ・学会発表（臨床研究）

- ・臨床実地：少数歯欠損患者の埋入手術～メインテナンスまでのインプラント治療の習得



- ・教育：補綴科・高齢者歯科研修（6M）・IOD, CAD/CAM

- ・ケースプレゼンテーション発表

- ・学会発表（臨床研究）

- ・臨床実地：6歯以上の多数歯欠損患者のインプラント治療の実施

認証医取得



- ・教育：口腔外科研修（3M），サイナスリフト，顎骨再建インプラント，即時荷重，学位論文作成

- ・臨床実地：無歯顎，骨移植，サイナスリフト症例，インプラント周囲炎

学位取得



- ・臨床実地：医学部病院研修（豊洲・北部・藤が丘等）

専門医取得

昭和大学症型分類法に基づいた患者担当